

振幅確率

APD分布測定機

スペクトラムによる電界・磁界分布測定機能つき

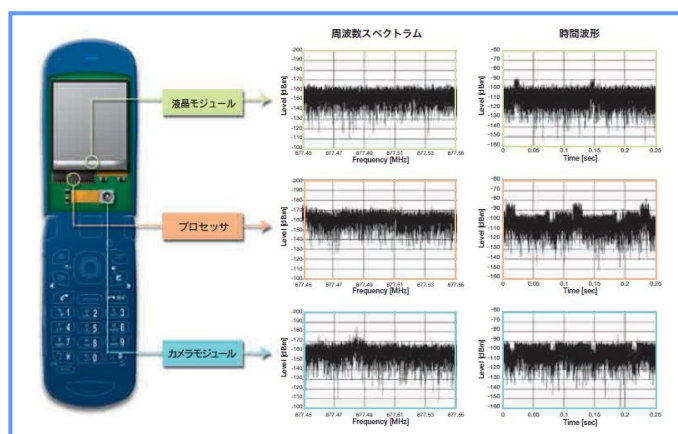
APD(振幅確率分布)は統計手法の一つであり、信号の時間波形からパワーレベルと時間頻度の関係をも一つのグラフで示したものです。

この測定器は、無線通信で用いられる高い周波数において、帯域幅と時間におけるノイズの時間変動を測定して、ノイズの強さと確率の両方を算出します。

太陽誘電株式会社の特許を使用



スペクトラムアナライザーでは捉えることができなかったノイズを測定可能です

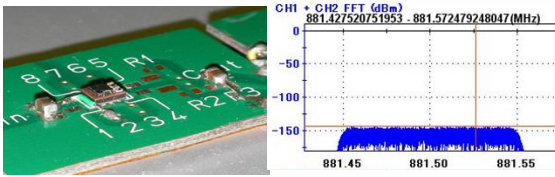


メリット

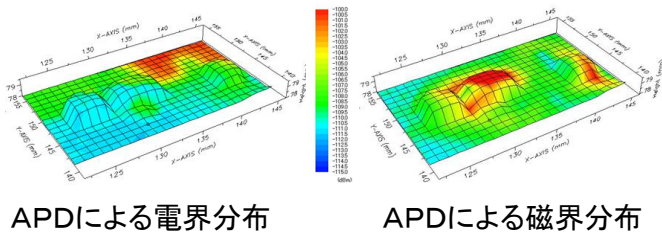
- ◆ 高次の高調波成分や、変調されたノイズを測定可能。
- ◆ 測定時間を正しく確保することで変調波やバースト波などを欠落のない測定が可能です。
- ◆ デジタル無線通信の評価 (BER : Bit Error Rate) と相関性の良い測定。

測定例

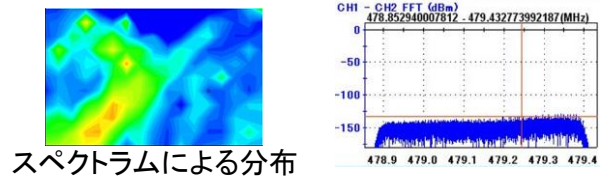
DC/DC のノイズ分布測定



スペクトラム上ではノイズは見られません。
APD分布測定ならばノイズの分布が得られます。

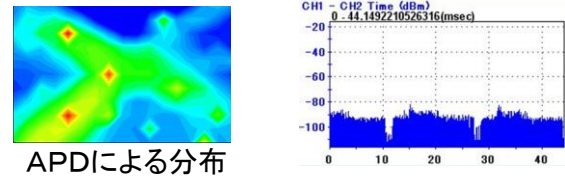


IC の磁界分布測定



スペクトラムによる分布

スペクトラム上では分布に現れません。
APD分布測定ならば分布に現れます。



APDによる分布

装置の特長

APD による電界・磁界分布測定

スペクトラムによる
電界・磁界分布測定

立体的な表示で解りやすい
3次元表示ソフトウェア

ティーチングボックスにより
測定範囲の位置合わせが容易

電界・磁界同時センサーを搭載

独自の信号解析装置を使用

被測定物の高さ検出機能を備え
凹凸のある物の測定が容易

お問い合わせ先



株式会社 ペリテック

〒370-0862 群馬県高崎市片岡町 1-17-2

TEL : 027-328-6970 FAX : 027-322-7218

E-Mail : peritec@mail.peritec.co.jp